

令和6年度 光市高齢者保健福祉計画等 策定市民協議会 会議資料

1 光市の現状（高齢化、認定率）

2 介護保険事業の実施状況

3 計画の進捗状況

4 令和7年度取組



1 光市の現状（高齢化、認定率）

1 光市の現状 高齢化について

- 高齢者数は減少しているが、後期高齢者・介護ニーズ高い85歳以上は増加
- 人口は減少しているが、高齢化率は上昇 ⇒ 現役世代の減少、担い手不足

	R5.1		R6.1		R7.1
前期高齢者数 (65～74歳)	7,359人		6,948人		6,520人
後期高齢者数 (75歳～)	10,422人		10,743人		10,985人
(うち85歳～)	3,186人		3,244人		3,275人
高齢者 計	17,781人	→	17,691人	→	17,505人
人口	49,421人		48,776人		47,919人
高齢化率	36.0%		36.3%		36.5%

住民基本台帳による光市の人口

1 光市の現状 認定率について

- 介護認定率：18.1%（令和6年11月末時点）
- 認定件数：3,157人（／17,447人中）
- 後期高齢者のうち、85歳以上の認定率：56.8%

※ 認定者、被保険者数、受給者数は
第1号被保険者のみの数値

	R4.11		R5.11		R6.11	
認定者	3,034人		3,103人		3,157人	
被保険者数	17,645人		17,608人		17,447人	
認定率	17.2%	→	17.6%	→	18.1%	
【参考】受給者数	2,335人		2,360人		2,374人	
【参考】受給率	13.2%		13.4%		13.6%	

《R6.10末》
県 全国
19.3% 19.7%

※ 受給者数：R4～R6の8月末時点

※ 受給率：受給者数 ÷ 第1号被保険者数

↓ 認定者の内訳

R6.11	前期高齢者 (65～74歳)	後期高齢者 (75歳～)	(内訳)		合計
			75～84歳	85歳～	
認定者	236人	2,921人	1,102人	1,819人	3,157人
被保険者数	6,570人	10,877人	7,673人	3,204人	17,447人
認定率	3.6%	26.9%	14.4%	56.8%	18.1%

【厚労省】介護保険事業状況報告（暫定）

2 介護保険事業の実施状況

2 介護保険事業の実施状況 サービス利用状況

		光市		山口県	全国
		R5	R6	R6	R6
訪問介護	(回)	20.4	19.9	20.6	28.4
訪問リハ	(回)	10.3	10.8	11.6	11.9
訪問看護	(回)	7.5	8.0	7.0	9.2
通所介護	(日)	12.6	12.4	12.7	10.9
地密通所介護	(日)	11.5	11.8	11.6	9.4
通所リハ	(日)	5.3	5.3	5.4	5.7
短期入所生活	(日)	13.2	13.4	13.2	12.4
小規模多機能	(円)	176,263	177,320	181,450	197,520
看護小多機	(円)	191,624	235,488	258,971	269,638
グループホーム	(円)	260,102	273,148	260,313	271,658

【厚労省：年報・月報データ】**受給者1人あたり**「利用日数・回数」「給付月額」



- 訪問介護の利用は減少だが、訪問リハ・訪問看護が増加
- 通所系・短期入所は横ばい
- 看護小多機・グループホームの介護度が重度化

2 介護保険事業の実施状況 施設整備

【特別養護老人ホーム】

圏域	施設区分	定員	R6	R7	R8	
浅江地区	従来型	20				
	ユニット型	121				
島田・上島田・三井・周防地区	ユニット型	133				
光井・室積地区	ユニット型	109				
大和地域	従来型	80				
計		463	0	0	0	合計 463

・広域 356
・地域密着 107

【認知症対応型共同生活介護】

	定員	R6	R7	R8	合計
9事業所	99	9			108

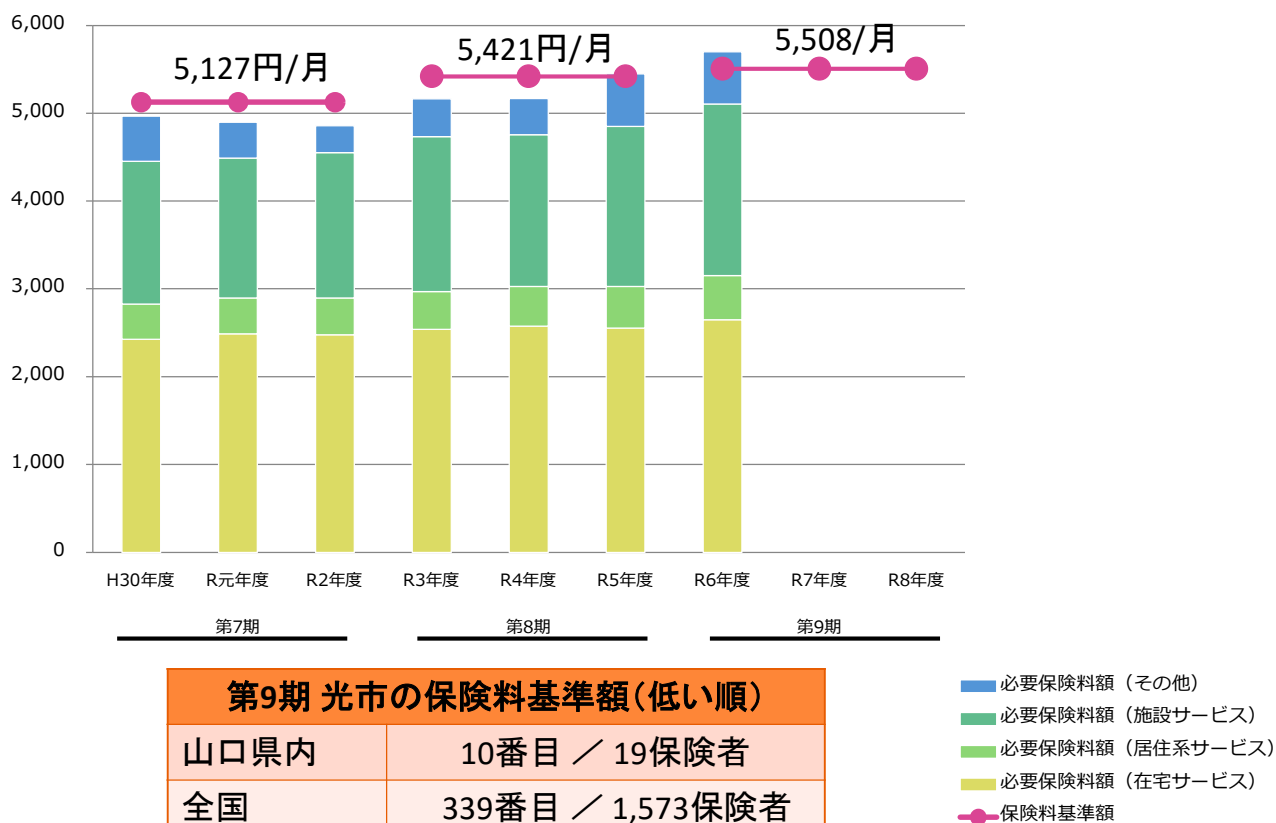
2 介護保険事業の実施状況 市内事業所数 ※各年2月1日時点

サービス種類	R5.2	R6.2	R7.2
居宅介護支援	17	17	18
介護予防支援	3	2	9
小規模多機能型居宅介護	8	8	7
看護小規模多機能型居宅介護	1	1	1
福祉用具貸与・販売	2	3	2
通所介護(地域密着型を含む)	24	25	26
認知症対応型通所介護	2	2	2
通所リハビリテーション	3	3	3
訪問介護	11	11	11
訪問リハビリテーション	4	4	4
訪問看護	4	4	4
短期入所生活介護	7	8	8
短期入所療養介護	4	4	4

サービス種類	R5.2	R6.2	R7.2
特別養護老人ホーム	4	4	4
地域密着型特別養護老人ホーム	3	4	4
介護老人保健施設	2	2	2
介護医療院	1	2	2
介護療養型医療施設	1	0	
特定施設入居者生活介護	3	3	3
認知症対応型共同生活介護	9	9	9

2 介護保険事業の実施状況 光市の保険料額

【厚労省：年報・月報データ】



R6.8月末時点

3 計画の進捗状況

3 計画の進捗状況 ※令和7年1月末時点

【施策の柱1】 地域生活支援プログラム

項目/年度			R5	R6	R7	R8
1	地域ケア全体(合同)会議	目標	2回	2回	2回	2回
		実績	2回	1回		
2	居宅介護支援事業所「入院時情報連携加算」及び「退院・退所加算」の取得率	目標	70.0%	55.0%	55.0%	55.0%
		実績	50.0%	66.7%		
3	総合相談 延件数	目標	3,420件	9,400件	9,600件	9,800件
		実績	9,505件	10,106件		
4	地域ケア会議開催回数	目標	65回	50回	55回	55回
		実績	38回	18回		
5	介護支援専門員への支援延件数	目標	480件	490件	500件	510件
		実績	289件	256件		
6	生活支援体制整備事業第2層協議体設置数	目標	10地区	4地区	5地区	6地区
		実績	4地区	4地区		

3 計画の進捗状況 ※令和7年1月末時点

【施策の柱1】 地域生活支援プログラム

項目/年度			R5	R6	R7	R8
7	介護支援ボランティアポイント事業(サポーター数)	目標	230人	160人	170人	180人
		実績	137人	133人		
8	災害時要援護者登録数(同意率)	目標	66.2%	63.9%	64.8%	65.6%
		実績	62.2%	63.6%		
9	ケアプランデータ連携システム導入事業所数	目標	—	3事業所	9事業所	27事業所
		実績	—	3事業所		
10	介護認定調査の市職員による点検実施割合	目標	—	100%	100%	100%
		実績	—	100%		
11	ケアプランの点検件数	目標	—	30件	30件	30件
		実績	—	40件		
12	医療情報との突合・縦覧点検月数	目標	—	12箇月	12箇月	12箇月
		実績	—	12箇月		
13	地域密着型サービス事業所等への運営指導実施数	目標	9件	9件	9件	9件
		実績	9件	11件		

3 計画の進捗状況 ※令和7年1月末時点

【施策の柱2】 認知症サポートプログラム

項目/年度			R5	R6	R7	R8
1	認知症に関する相談 延件数	目標	640件	1,150件	1,180件	1,210件
		実績	1,036件	1,417件		
2	認知症に関する 出前講座回数	目標	30回	10回	12回	15回
		実績	12回	5回		
3	認知症初期集中支援 チーム対応件数	目標	18件	3件	5件	7件
		実績	1件	0件		
4	認知症サポーター養成 講座受講者延人数	目標	11,800人	10,000人	10,300人	10,600人
		実績	9,870人	9,934人		
5	ひかり見守りネット (登録者数)	目標	96人	100人	100人	100人
		実績	100人	99人		
6	ひかり見守りネット (協力事業者数)	目標	270者	210者	210者	210者
		実績	200者	200者		

3 計画の進捗状況 ※令和7年1月末時点

【施策の柱2】 認知症サポートプログラム

項目/年度			R5	R6	R7	R8
7	認知症カフェ開設数	目標	10箇所	5箇所	5箇所	6箇所
		実績	4箇所	7箇所		
8	成年後見制度活用支援 延件数	目標	110件	240件	250件	260件
		実績	266件	279件		
9	日常生活自立支援事業 活動支援延件数	目標	50件	135件	140件	145件
		実績	127件	206件		
10	認知症地域支援推進員 配置人数	目標	1人	1人	3人	3人
		実績	1人	1人		
11	認知症地域支援推進員 対応件数	目標	560件	150件	200件	300件
		実績	190件	212件		

3 計画の進捗状況 ※令和7年1月末時点

【施策の柱3】 生きがい実感プログラム

項目/年度			R5	R6	R7	R8
1	地域ふれあいサロン活動支援事業サロン数	目標	112箇所	80箇所	84箇所	88箇所
		実績	83箇所	76箇所		
2	老人クラブ (会員数)	目標	3,600人	2,580人	2,590人	2,600人
		実績	2,572人	2,326人		
3	老人クラブ (単位クラブ数)	目標	67クラブ	56クラブ	56クラブ	56クラブ
		実績	56クラブ	54クラブ		
4	転倒骨折予防教室 参加者数	目標	300人	200人	200人	200人
		実績	157人	164人		
5	サービス提供事業所数 ※リハビリテーション関係	目標	11事業所	11事業所	11事業所	11事業所
		実績	11事業所	11事業所		

3 計画の進捗状況 ※令和7年1月末時点

【施策の柱3】 生きがい実感プログラム

項目/年度			R5	R6	R7	R8
6	介護予防・日常生活支援総合事業(基準緩和サービス事業者数)	目標	10事業者	8事業者	8事業者	8事業者
		実績	7事業者	6事業者		
7	いきいき百歳体操 実施団体数	目標	60団体	35団体	36団体	37団体
		実績	35団体	36団体		
8	地域リハビリテーション 活動支援事業支援回数	目標	28回	10回	11回	12回
		実績	5回	4回		

4 令和7年度の取組

4 令和7年度の取組

★高齢者補聴器購入費助成事業【新規】

聴力低下によるコミュニケーション不足や引きこもりを防ぎ、認知症予防やフレイル（虚弱）予防を図るため、補聴器購入費に対する助成制度を創設

●対象者

65歳以上高齢者の助成対象者

●助成額

補聴器本体の購入経費の1／2 ※上限30,000円

●予算額

3,000千円（補助金）



4 令和7年度の取組

★高齢者保健福祉計画及び第10期介護保険事業計画策定事業【新規】

第10期介護保険事業計画(R9～R11)策定時における今後の高齢者施策の方向性を定める基礎資料とするため『介護予防・日常生活圏域ニーズ調査』(アンケート調査。国必須)を実施

●調査対象者

2,000人(要介護1～5以外の65歳以上) ※無作為抽出

●実施方法

コンサルタントへの業務委託

※調査票・封筒(配布・返信)の作成、集計・分析、報告書作成

●予算額

2,291千円(消耗品費、通信運搬費、委託料など)

《【参考】前回の設問》

設問項目	設問数
① 基本属性、家族や生活状況	7
② からだを動かすこと	7
③ 食べること	4
④ 毎日の生活	6
⑤ 地域での活動	3
⑥ たすけあい	4
⑦ 健康	6
⑧ 認知症の相談窓口の把握	2
⑨ その他(市独自の設問)	12

計 51問

4 令和7年度の取組

★電子申請・届出システムの利用開始【新規】

介護分野の文書に係る負担軽減策として国が構築した「電子申請・届出システム」を令和7年4月から利用開始し、事業者から市(指定権者)に書面で行われていた申請等を電子申請により行うこととする。

●対象事業者

光市が指定権者である次のサービス事業者

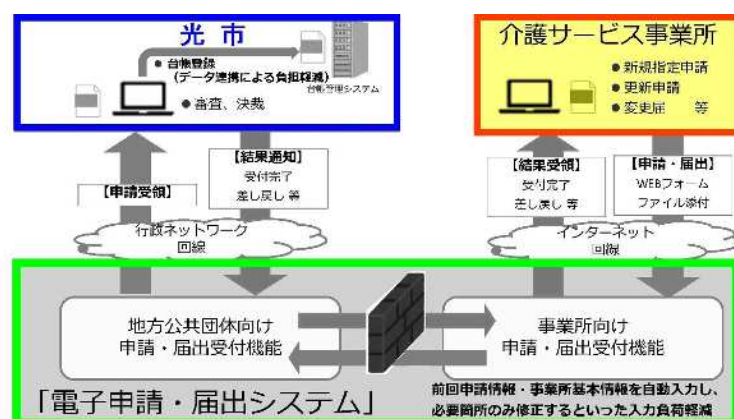
- ・地域密着型(介護予防)サービス
- ・居宅介護支援
- ・介護予防支援
- ・総合事業

●対象手続

- ・指定申請関連文書
- ・報酬請求関連文書

●予算額

なし ※システム利用料は無償(市・事業者ともに)



4 令和7年度の取組

☆地域包括支援センター運営事業【拡充】

高齢者の保健・医療の向上及び福祉の増進を包括的・継続的に支援するため
地域包括支援センターを運営

●運営体制

- ・【直営】 基幹型、西部圏域 ⇒ 「西部センター」をあいぱーく光に移転
- ・【委託】 東部圏域

●地域包括支援センター管理システム再構築

総合相談などの記録・集計などの業務効率化を図るため、システムを再構築

●予算額

42,592千円（委託料など） ※うち、システム再構築 13,000千円

4 令和7年度の取組

■生活支援体制整備事業【継続】

高齢者の在宅生活を支えるため、多様な事業主体による生活支援サービスの
提供体制の推進（コミュニティ協議会単位等での取組を促進）

●概要

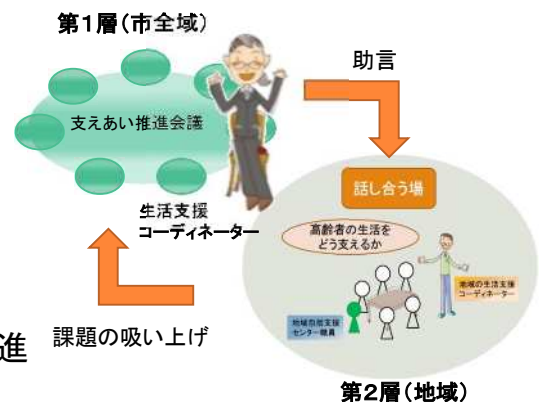
- ・第1層（市全域）、第2層（地域）に協議体を設置
- ・第1層生活支援コーディネーター（事業の推進役）
に社会福祉士を配置



専門的なスキルを活かした取組みや
柔軟な対応を可能とし、円滑かつ効果的に事業推進

●予算額

8,918千円（委託料）



4 令和7年度の取組

■認知症サポーター活動促進・地域づくり推進事業 【継続】

「共生」の地域づくりを推進するため、認知症サポーターステップアップ講座を開催し、チームオレンジを認定

●チームオレンジとは

支援する側、される側の垣根のない活動であって、「認知症の人やその家族の支援ニーズ」と「認知症サポーターを中心とした支援」を繋ぐ仕組み

●概要

- ・チームオレンジの企画やその運営を支援するコーディネーターを配置
- ・ステップアップ講座を受講した団体等をチームオレンジとして認定。
- ・認定を受けた団体(チームオレンジ)は、各団体の活動において認知症の人やその家族への支援を行う。

●予算額

31千円（講師謝金、費用弁償、消耗品費など）

4 令和7年度の取組（参考①） 《健康増進課》

★带状疱疹ワクチン定期接種事業【新規】

带状疱疹の発症や带状疱疹後神経痛等の合併症のリスクを逡減するため、リスクの高い高齢者等に対するワクチン接種を開始し、発症予防や重症化予防に取り組む

●対象者

- ・65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳
- ・100歳以上の全員
- ・60歳以上65歳未満のうち、特定の障害を有する人

●予算額

36,717千円（委託料など）



4 令和7年度の取組（参考②） 《福祉総務課》

★総合福祉センター通話音声テキスト化・モニタリングシステム導入【新規】

通話内容のリアルタイム表示及び対応記録の視聴が可能なシステムを導入し、電話対応の質を向上

●概要

- ・通話内容をリアルタイムにテキスト化
- ・通話内容をテキスト及び音声保存

●予算額

3,900千円（委託料など）



4 令和7年度の取組（参考③） 《環境市民部》

☆健康づくりと介護予防の一体的実施～つながり健康プログラム～【拡充】

保健師等の医療専門職が中心となり、コーディネーター役として事業全体の企画・調整・分析を行いつつ、高齢者に対する個別的支援や通いの場への積極的関与を行い、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活ができる期間の延伸・維持向上を図る

●令和7年度

- ・健康状態等が不明な高齢者等の把握
- ・集いの場でのフレイル予防の普及啓発
- ・低栄養になるおそれのある高齢者を対象とした低栄養予防プログラムを実施

●予算額

12,798千円



4 令和7年度の取組（参考④） 《都市政策部》

☆高齢者バス・タクシー等運賃助成事業【拡充】

通院や買い物などの日常生活に必要な移動を困難とする高齢者の移動を支援するとともに、公共交通の利用促進を図るため、バス・タクシー等利用時の運賃を助成

●令和6年度

《対象者》 ①～③すべてを満たす人

①光市に居住する満65歳以上

②自動車運転免許証を所有していない

③世帯内に平日の移動支援(運転)が可能な人がいない

《助成券》

・48枚9,600円分

(200円/枚)

●令和7年度

制度の一部を見直し



- ・対象者要件の緩和 世帯内に移動支援者がいる場合でも対象
- ・申請手続の簡略化 前年度申請者は申請不要
- ・うしま丸も使用可能

●予算額

21,603千円



4 令和7年度の取組（参考⑤） 《経済部》

■「光に住んで、働こうやー！」支援事業 (中小企業等人材確保・育成・定着支援事業)【継続】

中小企業等の人材確保・育成・定着の取組として、①企業を知ってもらい、②就業体験してもらい、③住んで働き続けられる、ための一連の取組をセットで事業者を支援

●支援内容 ※介護事業者も対象

①中小企業等知名度向上・ブランド化補助金

市内事業所への求人に関する採用活動に補助金を交付
(補助率1/2、1事業者あたり補助上限30万円)

②インターンシップ促進補助金

インターンシップを受け入れる事業者に補助金を交付
(学生1人の受入れにつき1万円、1事業者あたり補助上限10万円)

③中業企業等人材定着・定住支援補助金

従業員のリスクリング等の研修・講習に補助金を交付 など
(補助率1/2、1事業者あたり補助上限30万円)

●予算額

6,200千円

4 令和7年度の取組 ※施策の柱別(主なもの)

施策の柱1 地域生活支援プログラム

事業名	内容	予算額 (千円)
在宅医療介護連携事業	医療介護連携ツール「つながりシート」を活用し、医療と介護の連携促進に加え、必要な利用者情報を効率的に共有	16
介護予防ケアマネジメント事業	要支援者や事業対象者等の自立支援・重度化防止を図り、地域で自立した生活を送ることができるよう介護予防ケアマネジメントを実施	32,257
介護支援ボランティアポイント事業	介護施設等を対象としたボランティア活動と、在宅高齢者の生活を地域で支える仕組みを構築し、介護予防や生きがい創出に繋げる取組みを推進	1,970
緊急通報体制整備事業	ひとり暮らし高齢者等に緊急通報装置を貸与し、在宅で安全・安心な生活の継続を支援	15,795
介護相談員派遣事業	介護相談員を市内介護サービス事業所に派遣し、利用者の疑問等を聞き取るなど利用者と事業所の橋渡し役となることで、介護サービスの質の向上を図る。	660

4 令和7年度の取組 ※施策の柱別(主なもの)

施策の柱2 認知症サポートプログラム

事業名	内容	予算額 (千円)
認知症初期集中支援推進事業	認知症又は認知症の疑いのある高齢者等に対し、医療・介護の専門職で構成された認知症初期集中支援推進チームで支援	251
認知症高齢者等見守りネットワーク事業	ひかり見守りネットの見守りグッズを配布し、行方不明発生時の早期発見・未然防止を強化	5
認知症カフェ運営補助事業	認知症の人や家族、地域の人が集い語り合う「認知症カフェ」を主体的に運営する団体に対して助成	210
成年後見制度利用支援事業	成年後見制度の周知を図るとともに、必要な人には、申立て支援や制度利用に係る費用を助成	2,253
成年後見制度利用促進整備事業	成年後見制度利用促進に向けた体制整備のために設置した中核機関を中心に、安心して成年後見制度を利用できる環境を整備	4

4 令和7年度の取組 ※施策の柱別(主なもの)

施策の柱3 生きがい実感プログラム

事業名	内容	予算額 (千円)
地域ふれあいサロン 推進事業	「ふれあい・いきいきサロン」の活動や立ち上げ、運営を支援し、住民主体の介護予防への継続参加を促進	973
地域ふれあいサロン 活動支援事業	「ふれあい・いきいきサロン」へ看護師を派遣し、健康のチェックやアドバイス等を通じて介護予防効果を促進	3,461
老人クラブ活動の支援	地域を基盤とした高齢者の自主的団体である老人クラブの活動を支援	6,122
いきいき百歳体操普及 事業	地域住民が身近な地域の通いの場で主体となっ て行うことのできる「いきいき百歳体操」の普及を 通して、高齢者の介護予防や自立支援、社会参加 を促進	128
地域リハビリテーション 活動支援事業	地域における介護予防の機能強化を図るため、リ ハビリ専門職が住民活動・地域ケア会議・同行訪 問などで総合的に支援	143